

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
田中 孝弘

上伊那支部情報紙

2019年
4月19日
第3号
職場揭示

支部ホームページ <http://www.kamiina.jp/sub-domain/ntuhp/wordpress>
組合員用 パスワード：ntu2453



伊藤執行委員長挨拶

**組合員増！！ +14名で
kumirura 835名に！！**

～第2回評議員会報告～

4月12日（金）に行われた第2回評議員会で、伊藤執行委員長より第1回評議員会の日から14名の組合員数増の報告がありました。更なる声掛けで、共に歩む仲間を増やしていきましょう。



【議事1】 支部書記局部員構成に関する件

執行部の提案通り、承認されました。部員構成の詳細につきましては、右面一覧をご確認ください。評議員の先生方、1年間、それぞれの部署でお力添えをよろしくお願いいたします。

【議事2】 支部選挙委員会、支部定期大会資格審査委員会構成に関する件

執行部の提案通り、承認されました。構成は担当執行委員と組織部員になります。（右面参照）

【議事3】 主任手当自覚的拠出に関する件

執行部より、主任手当自覚的拠出運動の継続について提案されました。

主任手当自覚的拠出運動とは

主任手当を氏名等非公開で拠出していただく取り組みです。昭和50年学校教育法施行規則の「改正」で主任の制度化が行われ、教務主任、生徒指導主事、3学級以上の学年主任等に主任手当が支給されています。こうした動きに対し、県教組では、主任が中間管理職として位置づけられることで、職場内が分断されたり、管理が強められたりしないようにと、主任制度の形骸化をはかる取り組みを続けています。

「主任手当があるからと言って、職場の雰囲気が悪くなったり、職場が分断されたりしている感じはしないが・・・」「職場の分断化を防ぐという意識は大切。しかし、拠出という方法については検討の必要もある。」等の意見が評議員のみなさんから出されました。

最後に延藤法制部長から、「この運動の趣旨を大事に、そして今後危惧される新しい職設置に対抗する運動として取り組んでいきたい」と提案がされ、賛成多数で承認されました。

上伊那支部では、昨年度拠出された手当をカンパ金と合わせて、3月20日（水）に「たかずやの里」へ寄付させていただきました。



寄付金を届ける保科前執行委員長



上伊那教育研究会について説明する
倉田教文部長

上伊那の教育はひとつ！【協議】 上伊那教育研究会について

「上伊那の教育はひとつ」の理念を大切に、上伊那教育研究会を四者共催、1.5日で開催します。6月14日（金）に開催する基調講演会をベースとして、「研究会Ⅰ」を一日開催として授業研究会を中心に教科についての研究、「研究会Ⅱ」を半日開催として日々の実践に生きる教材研究や実技講習等を行うことについて貴重なご意見をいただきました。